

大野城市 議会だより



大野城市議会
ホームページ

2025 令和7年
No.169

発行 大野城市議会
編集 広報委員会
令和7年6月1日

3

3月定例会



令和7年 6月定例会 (予定)

6月 2日(月)10:00～ 本会議 提案理由説明
5日(木)10:00～ 本会議 質疑・付託
6日(金)10:00～ 各常任委員会 10日迄

16日(月) 9:30～ 本会議 一般質問
17日(火) 9:30～ 本会議 一般質問
20日(金)10:00～ 本会議 報告・討論・採決

令和7年第3回5月臨時会において
委員会メンバーが変わりました

議長



関井 利夫

副議長



河村 康之

総務政策委員会



委員長
原田 真光



副委員長
岡部 かおり



関井 利夫



松崎 正和



河村 康之



平井 信太郎



松崎 百合子



森 和也

福祉教育委員会



委員長
神田 徳良



副委員長
中村 真一



山上 高昭



井福 大昌



大塚 みどり



永利 恭子

都市経済委員会



委員長
平田 不二香



副委員長
中村 慎一郎



井上 正則



松田 美由紀



福澤 信光

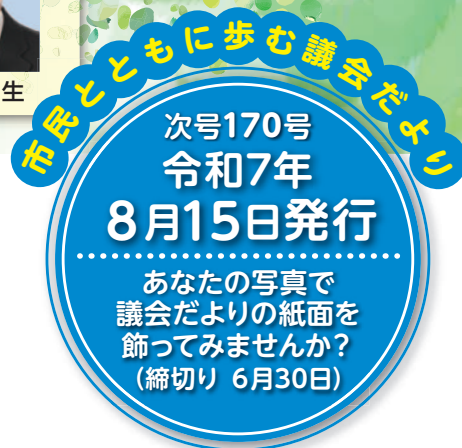


河野 敏生

主な記事

- 令和7年度一般会計予算 P2
- 不登校対策に関する提言書 P3
- 議会研修会 P3
- 3月定例会 P4～5
- 委員会レポート P5～8

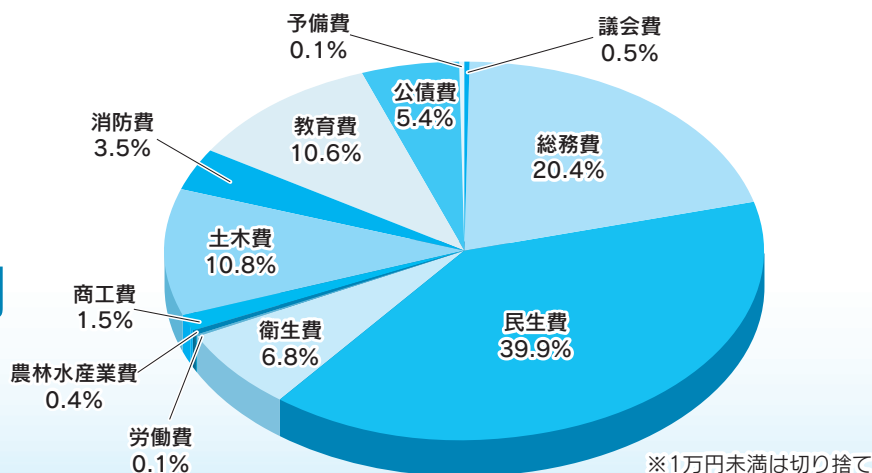
- 代表質問 P8～10
- 一般質問 P10～16
- 議会報告会 P17
- 1月臨時会 P17



令和7年度一般会計当初予算

歳出総額
**507億
7000万円**

前年度比
55億3000万円の増



気になるポイントをピックアップ！

◎乳児等通園支援事業 (こども誰でも通園制度) **1千239万円**

保護者の就労等の有無を問わず、全ての子育て家庭への支援強化のため、保育所等に通っていない0歳6か月から満3歳未満までのこどもを対象に、基準を満たした施設において、月10時間までの受入れを行います。

◎小中学校給食 無償化事業 **4億9410万円**

2学期から小学校給食及び中学校ランチ給食等を無償化し、中学校のランチ給食を注文しない生徒や私学等の児童生徒の保護者に対して、給食食材費相当分の補助を行います。

◎シビックゾーン 整備事業 **8億9266万円**

災害発生時等の本部機能や応急復旧活動を担う防災拠点として「(仮称)防災危機管理センター」を市庁舎敷地内に建設整備します。

◎街頭見守りカメラ 設置事業 **3740万円**

防犯環境の整備と犯罪抑止を図り、安全安心のまちづくりを実現するため、公園及び小学校周辺に街頭見守りカメラの設置を行い、市民や市内事業者に対して防犯カメラ設置費用を助成します。

新規事業 & 主要事業

1ヶ月児健康診査事業・5歳児健康診査事業

乳児の疾病の早期発見・早期治療の促進や虐待の予防等を図り、幼児の成長・発達の課題等の早期発見・早期対応により、出産後から就学前までの切れ目のない支援を行います。

いじめ防止対策等推進事業

現在の学校社会福祉専門員(スクールソーシャルワーカー)を3人体制から6人体制(平野中学校区に2人、他の4中学校区に各1人)に増やし、週3日体制を週4日体制とします。

子ども医療費支給事業

中学生の通院医療費の自己負担額について、これまでの「ひと月当たり1200円」を令和7年10月から「無料」とし、中学生以下の子どもの医療費を全て無料とします。

带状疱疹予防接種事業

これまで同様、65歳以上の市民に带状疱疹の予防接種を行います。また、50歳から64歳までの市民を対象に、带状疱疹任意予防接種にかかる費用の一部助成も継続します。

シェアサイクル導入実証実験事業

市内で自転車等のシェアサイクル事業を行う民間事業者に対して補助を行います。

大野城総合公園キャンプ場整備事業

令和8年度に大野城市総合公園キャンプ場をリニューアルオープンします。

道路長寿命化計画策定事業

AIが自動で道路の不具合箇所を検出し、道路状況を客観的に把握することができる道路巡回システムを導入します。

議会から市へ提言を行いました

大野城市議会では、3月21日（金）の本議会において、福祉教育委員会での所管事務調査の結果報告をもとに、「議会からの提言」とすることに決定し、3月議会終了後、関井利夫議長が井本宗司市長へ「不登校対策について」の提言書を提出しました。



井本市長へ提言書を提出する関井議長



若山教育部長、伊藤教育長、井本市長、関井議長、森委員長、神田副委員長、平田委員、松田委員、平井委員、河野委員

提言書「不登校対策について」

大野城市における不登校の児童生徒は、令和5年度小学校180人、中学校317人、特に中学校においては約10人に1人の割合で不登校であり、これは全国データと比べても高く、重大な問題であると認識しています。

市議会福祉教育委員会は、問題解決のため行政視察や所管事務調査を行い、先進事例について学んできたことを提言書としてまとめました。

提言

- 1 学びの多様化学校の新設（現在不登校の子どもの社会的自立のために）
- 2 『学び合い』の導入（不登校の学校づくりのために）
- 3 オンライン授業・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの充実等（現在行っている取組のさらなる改善のために）

ハラスメント防止研修を実施

令和7年1月17日、福岡県議会制定の「福岡県における議会関係ハラスメントを根絶するための条例」に関する研修を行いました。

県条例の主なポイント

- 議員に対する研修の実施
- 議会関係ハラスメント事案についての相談体制の整備
- 県民にもハラスメント根絶への協力を要請

この研修を通じて、ハラスメントが人権侵害行為であることを再確認し、議員として高い倫理観が必要であり、すべての人に対してハラスメントとなる言動を慎むべきことを認識しました。



研修会の様子

3月定例会

令和7年3月定例会を2月25日（火）から3月21日（金）まで開催
41の案件を審議し、全て可決、承認、同意、採択。
審議結果の採決の様子は、大野城市議会ホームページ「令和7年第2回3月定例会」（右の二次元コード）から映像を見ることができます。



審議結果一覧

令和7年3月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会	議決月日
第2号議案	大野城市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	総務政策委員会	R7.3.21
第3号議案	大野城市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//	R7.3.21
第4号議案	大野城市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//	R7.3.21
第5号議案	大野城市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	//	//	R7.3.21
第6号議案	大野城市職員の育児休業等に関する条例及び大野城市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//	R7.3.21
第7号議案	大野城市税条例等の一部を改正する条例の制定について	//	//	R7.3.21
第8号議案	大野城市子ども医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	//	//	R7.3.21
第9号議案	大野城市記号式投票に関する条例を廃止する条例の制定について	//	//	R7.3.21
第10号議案	大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例及び大野城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	//	福祉教育委員会	R7.3.21
第11号議案	大野城市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	//	//	R7.3.21
第12号議案	大野城市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（筑紫地区介護認定審査会事務局の担当市変更に伴うもの）	//	//	R7.3.21
第13号議案	大野城市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	//	都市経済委員会	R7.3.21
第14号議案	大野城市水道事業給水条例等の一部を改正する条例の制定について	//	//	R7.3.21
第15号議案	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について	//	—	R7.3.5
第16号議案	市道路線の廃止について	//	都市経済委員会	R7.3.21
第17号議案	市道路線の認定について	//	//	R7.3.21
第18号議案	財産の取得について（小中学校教師用指導書）	//	福祉教育委員会	R7.3.21
第19号議案	大野城市固定資産評価審査委員会委員の選任について	全会一致同意	—	R7.3.5
第20号議案	専決処分した事件の承認について（令和6年度大野城市一般会計補正予算（第12号））	全会一致承認	—	R7.3.5
第21号議案	令和6年度大野城市一般会計補正予算（第13号）について	全会一致可決	予算委員会	R7.3.21
第22号議案	令和6年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）について	//	//	R7.3.21
第23号議案	令和6年度大野城市介護保険特別会計補正予算（第4号）について	//	//	R7.3.21
第24号議案	令和6年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）について	//	//	R7.3.21
第25号議案	令和6年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計補正予算（第3号）について	//	//	R7.3.21
第26号議案	令和6年度大野城市水道事業会計補正予算（第4号）について	//	//	R7.3.21
第27号議案	令和6年度大野城市下水道事業会計補正予算（第4号）について	//	//	R7.3.21
第28号議案	令和7年度大野城市一般会計予算について	//	//	R7.3.21
第29号議案	令和7年度大野城市国民健康保険特別会計予算について	//	//	R7.3.21
第30号議案	令和7年度大野城市介護保険特別会計予算について	//	//	R7.3.21
第31号議案	令和7年度大野城市後期高齢者医療特別会計予算について	//	//	R7.3.21
第32号議案	令和7年度大野城市公共用地先行取得事業特別会計予算について	//	//	R7.3.21
第33号議案	令和7年度大野城市水道事業会計予算について	//	//	R7.3.21
第34号議案	令和7年度大野城市下水道事業会計予算について	//	//	R7.3.21
第35号議案	令和6年度大野城市一般会計補正予算（第14号）について	//	//	R7.3.21
第36号議案	令和6年度大野城市介護保険特別会計補正予算（第5号）について	//	//	R7.3.21
第37号議案	令和7年度大野城市一般会計補正予算（第1号）について	//	//	R7.3.21
第38号議案	大野城市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	—	R7.3.21

審議結果一覧

令和7年3月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会	議決月日
報告第1号	専決処分の報告について(畑ヶ坂二丁目7番地先における路側帯の段差を起因とした転倒事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	予算委員会	R7.3.17
請願第1号	学校生活において中学生が昼食を欠食にならないような食の保障の実施に関する請願書	全会一致採択	福祉教育委員会	R7.3.21
—	大野城市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	指名推選	—	R7.3.5
—	所管事務調査報告(福祉教育委員会)	全会一致可決	—	R7.3.21

— 陳情関係 — (全議員に写しを配布)

陳情第1号	議会の審議において、どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるような図をつくり、自治体のホームページで公開することに関する陳情
陳情第2号	市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情
陳情第3号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

議会の動き

2月12日	会派代表者会議	6日	福祉教育委員会	11日	福岡県南市議会議長会(柳川市)
18日	議会運営委員会	10日~13日	都市経済委員会	14日	広報委員会
25日	本会議(1日目)	17日	予算委員会	16日	福岡県市議会議長会(筑後市)
	議会運営委員会		本会議(3日目)	18日	会派代表者会議
	会派代表者会議	18日	政策検討会議	23日	広報委員会
	全員協議会		本会議(4日目)	24日	九州市議会議長会(大分市)
	広報委員会	21日	予算委員会	28日	議会運営委員会
3月5日	本会議(2日目)		議会運営委員会	5月2日	会派代表者会議
	政策検討会議		本会議(5日目)	5月9日	議会運営委員会
	総務政策委員会	4月4日	全員協議会	12日	臨時会
			福岡県中部十一市議会議長会(太宰府市)		広報委員会



3月定例会 委員会レポート

令和6年度補正予算

予算委員会(補正予算)

第21号議案

令和6年度大野城市一般会計補正予算(第13号)について

問 避難行動要支援者制度の内容について

答 災害時に自分で避難することが難しい方の状況を確認する通知を送り、関係部署や機関と情報を共有しながら災害時の避難行動支援を行うもの。令和6年度は対象者が1万7546名、そのうち避難支援希望者が1455名である。

問 市職員の増員計画を踏まえた職員数の確保について

答 令和5年度末の退職者、定年退職以外で令和6年度に相談があっている方を含めると、当初の見込みよりも採用数を増やさなければならぬ状況である。令和7年度の採用数は合計25名を計画しているが、中途退職を

見込んでいないところもあり、今後は一定数民間への流動を含めて想定し、採用を進めていく。

問 高齢者等不燃ごみ等戸別収集業務の利用状況と周知について

答 不燃ごみ等を持ち出せない1人暮らしの要介護認定者等を対象に月2回不燃ごみ等を個別収集し、併せて見守りを行う事業で、令和6年度は40名の利用を見込んでいる。ケアマネジャーや地域の方にも広く周知を行っており、今後はさらに周知を図っていく。

問 中学校屋内運動場改修事業の内容について

答 大野中学校は2階アリーナの改修と外壁及び屋根の改修、大野東中学校は2階アリーナの改修と外壁の改修を計画している。両校とも照明のLED化等も併せて実施を予定している。

令和7年度当初予算

予算委員会

第28号議案

令和7年度大野城市一般会計予算について

問 ホームページシステム更新事業の内容は

答 誰が見ても伝わりやすく、検索しやすいホームページになるよう検討していく。また、職員にとっての編集のしやすさ等も含めて総合的に比較検討する。令和8年4月の運用開始を予定している。

問 ストレスチェックにおける高ストレス者の割合と高ストレス者と判定された場合の対応は

答 令和6年度の高ストレス者の割合は13.2%で98名が高ストレス者との判定を受けている。対応としては、産業医の面談やEAPの紹介等いつでも相談できる案内をしている。なお、産業医の面談を受けた人数は12名である。

問 (仮称)防災危機管理センターとはどのような施設か

答 災害対応のための本部の中枢となる機能を有する施設であり、平時は市庁舎としての利用も検討している。

問 庁用車ゼロカーボン推進事業費の内容は

答 電気自動車の充電設備の整備に係る設計監理委託料や工事費、カーシェアの使用料、軽貨物電気自動車5台分の購入を予定している。

問 備蓄倉庫の概要と備蓄品の購入品目は

答 市内の2か所に備蓄倉庫の建設を予定している。備蓄品として水、レトルト食品、アルファ化米食品等の食料品のほか、組立て用の簡易トイレや毛布、簡易ベッド等の購入を予定している。

問 公民館等指定管理者交付金の対象となる事務職員及び賃金は

答 公民館の開館管理を行っている事務職員(公民館長、副公民館長、会計を除く)へ市が積算した人件費を交付している。

問 こども誰でも通園制度の実施概要は

答 受入れを予定しているのは2施設で10月の事業開始に向けて協議を進めている。こども誰でも通園制度のためだけの独立した部屋を設けて、受入れ予定。利用者からの申請等は6月頃の開始を予定している。

問 JR水城駅バリアフリー整備事業の概要と負担金の負担割合は

答 JRが駅舎やホームのバリアフリー化に関して設計業務を行い、その設計業務に対して市が負担金を払う形態になる。負担金の割合は活用する補助金の種類にもよるが、国が50%、県が25%、市が25%の上限となっている。周辺整備も併せて進めていく計画である。

問 道路長寿命化計画策定事業の内容は

答 計画的に道路工事を実施するための計画策定にむけて、撮影した動画からAIが道路の不具合を自動で検出する巡回システムを導入し、基礎データを取得するもの。

問 小中学校給食無償化の考え方と財源は

答 令和7年度2学期から市内の小中学生がいる全ての子育て世帯の方に対して、本市独自の給食無償化を実施していきたいと考えている。財源はふるさと納税制度による寄付金を充当していく考えである。

問 大野城総合公園キャンプ場整備事業の概要は

答 本キャンプ場の特性である眺望を活かした設計とし、テントサイトとして車が乗り入れできるオートサイト、乗り入れできないフリーサイトを予定しており、令和8年4月のオープンを予定している。

子ども医療費の助成について

総務政策委員会

第8号議案

大野城市子ども医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

問 子どもの医療費の助成については、春日市と太宰府市が独自に拡充されたが、筑紫地区5市での協議は今後も継続していくのか

答 筑紫地区5市の課長会議は継続して行っており、今後も5市で継続して協議をしていく予定である。

問 今回、中学生までの医療費が無料になるとのことだが、今後、高校生まで無料にする予定はあるか

答 本市も含めた筑紫地区各市の財政状況等に留意し、検討を続けていく。

問 筑紫地区5市で統一して国に要望していくのか

答 国に対しては、全国一律の制度として、県に対しては、県で均衡を図って、県の補助制度等で基準の引き上げを要望していく。



介護認定審査会及び介護認定について

福祉教育委員会

第12号議案

大野城市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(筑紫地区介護認定審査会事務局の担当市変更に伴うもの)

問 本市の筑紫地区介護認定審査会委員の人数、構成は

答 本市では、35名に委嘱している。審査会の委員は、筑紫医師会、筑紫歯科医師会、筑紫薬剤師会、県介護福祉士会、県社会福祉士会、県看護協会、県理学療法士会、県作業療法協会、福岡地区老人福祉施設協議会から選出された方で構成されている。



問 介護認定の流れは

答 本人からの申請により、所定の資格を持った調査員が自宅に伺い、身体の状態、生活の状態等を全国統一基準に基づき調査する。また、主治医に意見書を書いていただき、これらによりコンピューター判定された一次判定に基づき、介護認定審査会が審査する。介護認定審査会は、5人の委員で構成された合議体で審査されて、最終的な要支援・要介護度が決定される。

第18号議案

財産の取得について(小中学校教師用指導書)

問 教師用の指導書を、小・中学校それぞれ何冊ぐらい購入する予定か

答 小学校が590冊、中学校が582冊の予定である。

市道路線の廃止・認定について

都市経済委員会

第14号議案

大野城市水道事業給水条例等の一部を改正する条例の制定について

問 水道技術管理者と布設工事監督者の資格が変わったことで、人数の増減など変更があるのか

答 水道技術管理者は必ず1名配属することになっている。また布設工事監督者については、配水池など大規模な工事の施工を監督する責任者のため、変更はない。



第17号議案

市道路線の認定について

問 東大利1547号線(下大利駅付近)と白木原2877号線(白木原駅付近)の通行状況は

答 東大利1547号線は現在通行できないようになっているが、この部分の通行についてはラウンドアバウトを使用することで対応している。白木原2877号線は準備でき次第、通行できるようにしたい。



ラウンドアバウト(環状交差点)

代表質問

～大野城市長の考えを問う～

各会派のタイトルにある二次元コードから映像を見ることができます。



代表質問とは・・・市長の施策方針及び所信表明等に関して、会派から代表者を立てて質問を行います。

会派名	所属議員	内 容
自民大野城	質 山上 高昭 ・ 関井 利夫 ・ 井福 大昌 ・ 中村 真一 ・ 森 和也	1. 施政方針について 2. 市政運営の基本方針について
公明党	質 神田 徳良 ・ 井上 正則 ・ 大塚 みどり ・ 河村 康之	1. 令和7年度施政方針について
未来フォーラム	質 松崎 百合子 ・ 永利 恭子 ・ 河野 敏生	1. 施政方針について



映像はこちら

地域の宝である子ども達が心豊かに育つ為に

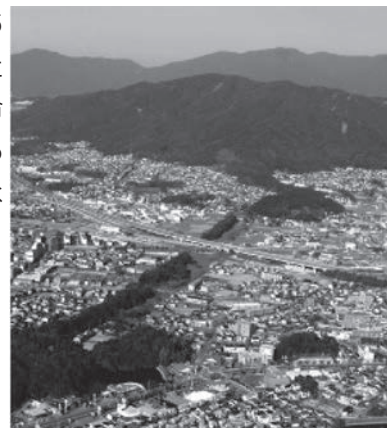
自民大野城

問 日本遺産「古代日本の『西の都』」について

答 本市を含め5市2町の30の文化財で構成する日本遺産「古代日本の『西の都』」の認定取消しという結果が構成市町の住民の皆さんだけではなく、多くの皆さんに文化財としての価値が損なわれたような誤った印象を与えてしまう結果になったことは甚だ遺憾である。本市の市名の由来にもなっている大野城跡は我が国最初の防衛施設であり、世界遺産にも引けを取らない史跡である。これまで1360年余りにわたって脈々と受け継がれてきた祖先の思いは今回の決定があっても決して消えるものではない。加えて、日本最古の山城大野城の麓に住む我々の誇りというものはいささかも揺らぐものではない。先人たちの思いと誇りを受け継ぐ責任ある立場として、貴重な歴史遺産を地域の宝として守り、市民の宝にふさわしい活用をこれからも図っていく。

問 (仮称)防災危機管理センターについて

答 (仮称)防災危機管理センターは、災害時の情報を集約・共有する機能、限られた人員や様々な資源を効果的に活用するための機能、さらには、関係機関相互の総合調整を迅速に行うための機能など、本市の防災危機管理の中核機能を有する拠点施設であり、将来にわたって市民の命と暮らしを守るために必要な施設である。



水城跡



映像はこちら

令和7年度施政方針について

公明党

問 産後ケア事業の利用実績は

答 昨年度は宿泊型、通所型および訪問型の合計利用延べ件数が733件と多くの方に利用されている。

問 温室効果ガス排出量削減について

答 平成25年度と比べて16.8%削減している。

問 日本語学習指導支援について

答 小中学校で日本語の学習支援が必要な22名の児童生徒に対し、日本語学習指導支援サポーターが1日3時間以内の学習支援を行う。

問 スクールソーシャルワーカーの増員について

答 これまで3名、週3日勤務体制としていたが、3名増員し合計6名で、週4日勤務体制とする。

問 学びの多様化学校について

答 令和8年4月の開校を目標に準備を進める。

問 小中学校給食の無償化について

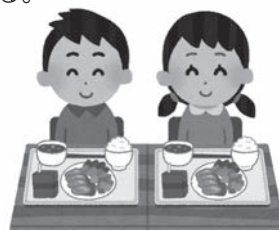
答 子育て世帯の経済的負担軽減のため市が提供する給食を食べていない家庭にも等しく恩恵が受けられる制度として進める。

問 まどかオレンジ協力隊員について

答 現在56名いる協力隊員数を令和7年度末までにほぼ倍増の105名の隊員数をを目指す。

問 下水道の点検について

答 テレビカメラを用いた下水道管内の定期点検で、劣化状況などを把握し計画的に修繕、改築を進めている。





映像は「まちら」

給食無償化を機に、中学校も全員制給食を！

未来フォーラム

問 中学校給食の無償化は、選択制のままでは複雑化する。中学校でも全てのこどもが欠食なく栄養バランスのとれる全員制給食の実施について

答 中学校の給食無償化は、ランチ給食を基本とした選択制の維持を前提にしており、今後も選択制給食の充実を図っていく。

問 学びの多様化学校の検討状況と送迎など通学支援について

答 不登校児童生徒の多様な学びの場の選択肢の一つとなるよう、令和8年4月開校を目標に準備を進める。通学方法は現時点では他の市立学校と同様に考えている。

問 子どもの貧困と、民間団体が行う学習支援へのバックアップについて

答 令和4年のアンケートでは、中学生以下の子どもがいる世帯で生活困難世帯の割合は8.4%。民間団体の様々な学習支援の取組について実態の把握に努めたい。

問 日本語学習支援が必要な児童生徒の現状は

答 令和7年度は13か国の外国人児童生徒22名が在籍予定。

問 高齢者と市民の福祉と健康のための、いこいの里の入浴時間延長について

答 施設の収容規模や給湯機器の性能などに限りがあるため、慎重に見極めていく必要がある。

問 被爆・戦後80年、被団協のノーベル賞受賞を受けて平和を発信する取組について

答 筑紫原爆被害者の会等と連携し様々な平和記念事業を実施してきた。今後も継続し平和を希求する思いを次の世代にもしっかりと引き継いでいきたい。



～これからの大野城を問う～ 一般質問

注：★がついている内容を掲載しています。

各議員の
タイトルにある
二次元コードから
映像を見ることが
できます。



氏 名	件 名
平 田 不二香	★子どもたちを安心安全な環境で、健やかに育てる大野城市であるために 【P11】
森 和 也	★大野城市公共交通ネットワークの構築とまどか号の今後について 【P11】
中 村 真 一	・道路の整備について ★下水道管について 【P12】
岡 部 かおり	・安全安心な歩行者空間について ★指定難病の子どもに対する環境づくりについて 【P12】
中 村 慎一郎	★中学校における昼食の欠食の現状と対策について 【P13】 ・給食費無償化実現後の給食のあり方について
松 田 美由紀	★みんなに伝わるみんながわかる情報発信について 【P13】 ・投票率向上と選挙に関する情報提供の効率・迅速化に向けて
永 利 恭 子	・基金と財源について ・インフラ整備と（仮称）防災危機管理センターの新築について ★小中学校の給食の無償化について 【P14】
大 塚 みどり	★小中学校における不登校支援について 【P14】
河 野 敏 生	★新小学1年生のランドセルクラブ利用について 【P15】 ・教育に携わる者の人権感覚の涵養について ・教職員不足問題について
原 田 真 光	★公共交通施策について 【P15】
松 崎 正 和	★「子ども第三の居場所」事業にかかる、大野城市（甲）、社会福祉法人（乙）、公益財団法人日本財団（丙）による三者協定を締結するに至る経緯及び協定書の疑問点等について 【P16】 ・中学校給食の無償化について
平 井 信太郎	・日本遺産「古代日本の『西の都』」認定取り消しについて ★学校給食費の無償化について 【P16】



映像はこちら

全小学校に不登校サポートルームの設置を

ひら 平 田
ふ 不 二
か 香



問 不登校と不登校兆候の児童生徒の人数は

答 令和7年1月時点で、不登校の小学校低学年児童数は31名、小学校全体では167名、不登校の中学校生徒数は272名。不登校兆候の小学校低学年児童数は122名、小学生全体では442名、不登校兆候の中学校生徒数は154名である。

問 学校内に、自分の教室に入りづらい児童生徒が過ごすサポートルームは設置されているか

答 全中学校に校内適応指導教室を設置している。また、市内小学校10校中3校が独自に校内適応指導教室を設置している。

問 市内小学校全校に早急に専用のサポートルームの設置が必要と考えるがいかがか

答 小学校において、登校はできても自分の教室に入りづらい状況の児童がいる場合は、保健室などの別室や、学校独自の校内適応指導教室で落ち着いた状態で過ごさせる事を基本に、当該児童の状況を見ながら、教職員が柔軟に対応している。今後も状況を把握しつつ、校内適応指導教室の設置も含め、対応を検討する。



映像はこちら

現在のまどか号と「デマンド型まどか号」

もり 森
かず 和 也



問 通勤・通学移動需要への対応である、朝夕時間帯の春日原駅や桜並木駅への乗り入れは、いつから行うのか

答 春日原駅への乗り入れは、駅前広場完成後の令和9年度を予定している。桜並木駅への乗り入れは、令和7年度を予定している。

問 まどか号の乗降方法を路線バスと同じ後乗り前降りにする理由と変更時期や必要となる経費は

答 乗降方法を変更することで、乗車だけでなく降車の利用データも把握でき、継続的なルートの見直しが図れる。変更時期は令和7年度中に実施し、約210万円を見込んでいる。

問 路線バスのJR大野城駅への乗り入れを充実するための具体的な対策は

答 既存のバス路線の終点となっている西鉄下大利駅東口から、現在整備中の白木原・下大利線を

経由し、JR大野城駅東口まで路線を延伸する案をバス事業者に提案している。まどか号のルート新設については、供用開始予定の「日の浦池線」の活用等も含め検討していく。

問 市が置き換えまたは新規導入を考えているデマンド型まどか号とは、どのようなものか

答 デマンド型まどか号は、現在のバス形式でのまどか号ではなく、利用者の予約に応じて小型車両で運行する公共交通を考えている。



まどか号



映像は二丁目

市内の下水道管の点検は

なかむら しんいち
中村 真一

問 埼玉県八潮市の大規模陥没事故が発生した後、本市の下水道管の緊急点検結果は

答 国から要請のあった緊急点検の対象となる下水道管は直径2メートル以上のもので、本市内には該当がない。本市は独自に2月に直径1メートルを超える下水道管の緊急点検を実施し、市内7ヶ所のマンホールに入り、汚水の流れや堆積物の確認等を目視確認し、異常はない。

問 本市の下水道管の総延長はどれくらいで、標準耐用年数50年を過ぎた下水道管は何キロメートルあり、全体の何%か

答 下水道管の総延長は、約330キロメートルで、昭和52年に公共下水道の供用を開始。現時点では標準耐用年数50年を経過した下水道管はない。

問 下水道管の長寿命化計画の概要は

答 下水道管の点検・評価を行うストックマネジメント基本計画とその評価結果に基づき、修繕・改築を行う下水道ストックマネジメント修繕・改築計画を基に進めている。

問 下水道管の整備の財源確保は大丈夫か

答 大野城市上下水道事業第4次中期経営計画の期間中は現行の料金体系を維持したうえで下水道事業の運営が継続できる財政収支の見通しとなっている。下水道管の更新については、今後も国庫補助金や企業債などの財源を効率的に活用し着実に進めていく。



市職員による点検の様子



映像は二丁目

様々な子ども達が安心して成長できるように

おかべ 岡部 かおり



問 指定難病の子どもの保育施設への受入れ体制は

答 受入れが可能な保育所では、支援に必要な数の保育士の配置や、病状に応じた研修の受講など、安全に保育ができる体制を整えている。

問 紫外線に当たることができない難病の色素性乾皮症の子ども達のために、UV防護服を日常生活用具給付事業の対象とする自治体がある。本市も給付対象用具を拡大すると、一人一人に対して丁寧に寄り添う選ばれるまちになると考える。

色素性乾皮症をはじめとした指定難病の子どもたちが小中学校に進学する際の環境や受入体制を整備していくことや、指定難病を含め障がいのある子どもが将来にわたって安心して暮らせるよう、市民の理解を深める必要があると考えるが市長の見解は

答 指定難病の子どもたちの健やかな成長のために、成長段階における子どもや保護者の不安や困り事を把握し、環境を整えていく必要がある。進学の際は、子どもの安全を第一に考えて子どもや保護者の意向に配慮しつつ、個に応じた最適な教育を受けられるよう、学校等と十分に協議していく。

また、指定難病や障がいのある子どもたちが将来にわたり安心して暮らしていくために、市民の皆様が理解を深め、地域全体で支えていくことが重要である。防護服等の給付用具対象の拡大については、先行自治体を調べ、早めの実現ができるよう頑張っていく。



紫外線を防ぐUV防護服



映像はこちら

中学校で欠食する生徒がいないように

なかむら しんいちろう
中村 慎一郎

問 中学生の昼食の欠食についての対応は

答 学校では担任が、注文や昼食の忘れがないか確認を行い、保護者への連絡をするか、予備食を提供するなどの対応を行っている。また昼食時間前にも改めて確認し、注文忘れなどが確認できた場合は、予備食の提供、パンの購入などで欠食がないようにしている。生徒自身が自分の食に対する関心を高め、保護者の協力も得ながら、昼食を通して食に対する自己管理能力を高めていきたい。教育委員会としては、予備食などを提供している生徒が何人いるかについての実態調査を速やかに行いたい。その調査結果に基づき、必要な予備食を準備するとともに、欠食を生じさせない体制や、注文を忘れた場合などに確実に申し出ることができる環境の整備に取り組む。

問 令和7年度から拡充するスクールソーシャルワーカーも本市の給食の取組に関わっていくのか

答 ランチ給食の注文や、弁当を持ってくることを忘れることが頻繁にある生徒については、家庭環境や生活の状況に様々な問題を抱えていることも考えられる。スクールソーシャルワーカーなどの専門職と連携しながら、生徒の状況に応じた対応や支援を行う。

問 生徒が、欠食しているのではと気になる生徒を見かけた場合、どのように対応したらよいか

答 担任教師や相談しやすい教師に相談してもらえば、学校が個別に調査や確認を行い、欠食とならないように対応する。



映像はこちら

みんなに伝わるみんながわかる情報発信とは

まつだ みゆき
松田 美由紀

問 日本語教室「ことばの交流ひろば」の認知度や年間利用者の延べ人数と数値目標は

答 大野城市国際交流協会が実施している日本語教室「ことばの交流ひろば」の認知度は、令和5年8月に実施した外国籍市民意識調査の結果では18.5%となっている。令和5年度の開催回数は34回で、参加者数は延べ133人となっている。参加者数の目標は、第2次大野城市国際化推進プランの最終年度である令和10年度の延べ人数を450人としている。

問 多言語ユニバーサル情報配信ツール(カタログポケット)の利用者数とその現状について

答 カatalogポケットを導入した令和6年9月から令和7年2月までの閲覧者数は99人、閲覧数は延べ211回である。Catalogポケットの導入目的の一つである、外国人の方の利用という点からすると、令和7年2月末現在の本市外国人登録者

数が1305人に対して閲覧者数や延べ閲覧数は少ないと考える。

問 他市で採用されている「やさしい日本語」や「LINEアカウントにおける多言語情報配信サービス」に対して市の考えは

答 多言語情報配信ツールの活用促進や、市ホームページのリニューアルの際に、やさしい日本語を導入し、誰もが情報を得やすくなるようにアクセシビリティの強化に取り組んでいく。LINEアカウントにおける多言語情報配信サービスの導入は、このアクセシビリティ強化の取組を進める中で検討する。





映像は二ページ

中学生にしっかり栄養が届く制度設計を

ながとし きょうこ
永利 恭子

問 中学校給食の無償化は選択制のままでどのように食材費相当分の補助を行うのか。教員や職員の負担が大き過ぎるのでは

答 学校に対して無償化の考え方と概要を説明しており、ランチ給食を基本とした選択制の維持を前提に制度設計し、学校と十分協議しながら2学期からの無償化導入に向けて細かな事業スキーム等を今後検討する。また、システムの開発や効率的な事務処理方法などを構築し、学校や担当課での事務や負担が最小限になるよう実施していく。

問 ランチ給食を注文しない生徒の保護者に対し補助を行って、全額が生徒の食費に充てられると思うか

答 給食無償化は、子育て世帯の経済的負担を軽減する施策として実施するもの。生徒や保護者に目的や趣旨を十分に説明し、生徒の昼食に関する費用に充てていただくようお願いする。

問 ランチ給食を注文し忘れるなどした場合にも補助するのか

答 担任は朝のホームルーム等で確認を行い、保護者に連絡又は予備食を提供するなどの対応を行っている。昼食前にも確認を行い、予備食又は教職員分のランチ給食を提供するなど、欠食がないように対応している。昼食を食べていない生徒がいるという声もあるため、対応の徹底を図るべく各中学校を指導していく。補助については、細かな事業スキームを詰めていく中で検討していく。



映像は二ページ

「学びの多様化学校」令和8年4月開校へ

おかつか みどり
大塚 みどり

問 学びの多様化学校は、不登校支援と何が違うのか、目指すところは何か

答 これまでの不登校支援である校内適応指導教室や未来教室コンパスは、学校や教室に入れない児童生徒が一時的に通う場としての役割を果たし、最終的には学校教室復帰を目指すものである。学びの多様化学校は独立した学校であり、児童生徒は新たな学校または教室として通学し、不登校児童生徒の心身の状況に合わせた特別の教育課程によりカリキュラムを実施することになる。

問 特別の教育課程とは

答 全国で開校している学びの多様化学校では、地域の特色を活かし、各教科の時間数を減らして様々な体験活動や情報教育、キャリア教育の時間を新たに取り入れている。

問 設置場所に関して、交通アクセス、利便性はどう考えているか

答 設置場所や施設整備の方針を決定するにあたって、交通アクセスも一つの要素として考慮することになる。

問 障がい者デイサービスや子どもの居場所事業、子どもの預かり事業などを行う社会福祉法人やNPO法人など、学びの多様化を推進することができる民間とコラボする方法も有効だと考えられるが、教育長の見解は

答 地域に根差した学校を構築するため、NPO法人との連携や地域・民間団体等の人材を学校に招き授業を行うことや、社会福祉施設などで職業体験ができる機会を設けるなどを検討したいと考えている。





映像はこちら

春休みのランドセルクラブの開所時間

かわの 河野 としお 敏生



- 問** 2025年度版のOnojo放課後こども事業ランドセルクラブ利用の手引によると、小学1年生の春休みの預け方として①4月1日から入学式まで②4月1日から給食開始日の前日までの2通りがあり、開所時間は8時からとなっている。しかし、小学校に入学する前の新入生は、通学路に慣れておらず、1人でランドセルクラブに行くことは、本人にとっても保護者にとっても大きな不安である。子どもを1人でランドセルクラブに登校させず、朝の数時間、仕事の時間休を取って子どもをランドセルクラブに送ったり、朝だけ祖父母に頼んだり、苦労している人もいる。保育所では7時、もしくは7時半から子どもを預かっている。ランドセルクラブでも、特に新入生の4月1日からの一時期は、保育所のように少し早く預かることはできないか

- 答** 小学校の登校時間が午前8時15分までとなっていることから、土曜日や春休みなどの学校休業日は、午前8時にランドセルクラブを開所し、児童は8時から9時の間に登所するようにしている。春休みの開所時間の前倒しについては、まずは新1年生の実際の登所状況や近隣自治体の状況などについて、調査研究を行うこととする。



映像はこちら

時代に合わせた公共交通を！

はらだ まさみつ 原田 真光



- 問** 導入を検討しているデマンド交通がどのような位置づけとなるのか。さらには、バスやコミュニティバスの位置づけや、既存のコミュニティバスとの連携をどのように図っていくのか
- 答** 路線バスとコミュニティバスは、通勤、通学などの鉄道駅への大量輸送の役割を担っている。一方で、現在検討中のデマンド交通は、交通弱者を対象とした地域内の商業、医療施設などへの細やかな輸送手段として位置づけている。また、既存のバスとデマンド交通は、それぞれの役割が重複しない路線とし、バスとデマンド交通の乗換えが容易となるための接続ポイントを設け、相互に連携を図ることとしている。

の終点となっている西鉄下大利駅東口から現在整備中の白木原下大利線を経由し、JR大野城駅東口に路線を延伸する案をバス事業者に提案している。

- 問** 日の浦池線が令和7年度に開通予定である。日の浦池線を通るJR大野城駅行きの新たなバス路線が必要だと考えるがいかがか
- 答** 下大利南ヶ丘線を含む周辺道路の交通状況や、地域住民の移動ニーズなどを考慮した上で検討する。



- 問** 整備が進んでいる白木原・下大利線を通る新たなバス路線の概要は
- 答** バス運転士の不足などにより路線バスの増便は難しいことから、既存の下大利駅行きバス路線



映像は二丁目

事前説明が一切ない、議会軽視では…

まつざき
松崎まさかず
正和

問 日本財団の助成金により「子ども第三の居場所」が昨年民間の社会福祉法人により開設されたが、この事業の助成は3年間で終了する。

大野城市が日本財団に出した「自治体協力届出書」には「本助成金の交付終了後も本市の事業として継続できるように必要な措置を講ずる」と明記されている。

「必要な措置を講ずる」とは、助成終了後、運営費、事業費の支援を約束するということで、3年後に市の財政負担が発生することは明らかであるにも関わらず、議会には事前説明等が一切行われていない。これは議会軽視と言われても仕方ないと思うが市長の考えは

答 本協定の締結に当たっては十分に協議、確認を行っている。3年経過後の必要な措置についても運営形態や財政措置等を確認するものでは

ないことを双方で確認をしている。また、当該法人との間で将来の財政的支援等の具体的な内容は何ら定まっていないので、現時点で大野城市として債務を負担する行為を行ったものではない。今後、日本財団からの助成期間が終了する令和9年度までにその間の事業実績等を踏まえ、施設の運営の在り方等について検討する必要がある場合は議会にも説明をした上で進めていきたい。



議場



映像は二丁目

学校給食費無償化が2学期から始まります！

ひらい
平井しんたろう
信太郎

問 市立小中学校以外の児童生徒に対する学校給食費の無償化への対応は

答 本市の給食費無償化は、市が提供する給食を食べる家庭だけでなく、私立の小中学校や特別支援学校等に通学する児童生徒の家庭に対して支援の申請制度や支給方法等を検討し、相応な支援を実施する。

問 不登校の児童生徒に対する学校給食費の無償化への対応は

答 不登校などで市が提供する給食を食べていない児童生徒のご家庭にも無償化の恩恵が届くよう相応な支援を実施する。

問 中学校の不登校者及び弁当持参やパン購入者に対する相応の支援とは具体的にどの程度なのか。

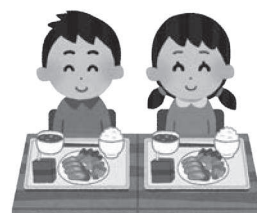
答 支援額も含めた具体的な方法は今後、詳細に詰めていくが、ランチ給食費相当額の支援が考えられる。

問 今後、国が給食費無償化を実施した場合でも、本市が実施予定の不登校等で給食を食べていない児童生徒のご家庭への支援も継続されるのか

答 国が主体となった無償化が実施された際には、国の補助の活用を考えているが、国の無償化に関わらず、義務教育課程の児童生徒がいる市内の全てのご家庭へ相応な支援を行う。

問 中学校における選択制給食は多くのメリットがあると思うが、今後の教育委員会の展望について教育長の見解は

答 中学生の食事に関するアンケートでも、生徒や保護者から多くの支持を得ていることから、選択制給食の意義や効果はあると考えている。生徒の自己管理能力を高めるためにも選択制給食を維持していく。



議会報告会（意見交換会）のご回答（抜粋）

令和6年11月9日に実施した議会報告会のご意見について各常任委員会で回答をまとめたものを抜粋します。

- 市のホームページの改善について フローチャート式にするなど他自治体ホームページについて調査していきます。
- 防災訓練について 地区によって災害リスクが異なるため地区防災計画作成を推進していきます。
- 高架下に託児所等を併設してほしい 高架下活用の成功事例などについて調査します。
- 防犯カメラについて 来年度から個人設置も補助対象としますが、委員会も引き続き調査します。
- コミュニティバス、デマンド交通について 引き続き調査や視察などを行っていきます。

1月臨時会

令和7年1月臨時会を1月17日（金）に開催。

1の案件を審議し、可決。

審議結果の採決の様様は大野城市議会ホームページ「令和7年第1回1月定例会」（右の二次元コード）から映像を見ることができます。



審議結果一覧

令和7年第1回1月臨時会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第1号議案	令和6年度大野城市一般会計補正予算(第11号)について	全会一致可決	予算委員会

1月臨時会 委員会レポート

ふるさと納税寄付額伸びる

予算委員会(補正予算)

第1号議案

令和6年度大野城市一般会計補正予算
(第11号)について

問 ふるさと納税が22億円から32億円と伸びている理由は

答 サイト運営事業者、返礼品提供企業、事業所と協議し、運営サイト内のランキングを上げる取組を行った結果と考える。

問 エネルギー、食料品等の価格高騰の影響を受ける低所得者への給付金の周知方法、申請方法は

答 周知方法は、広報紙、ホームページを予定している。申請方法は、2種類あり、過去に給付

金を振り込んだ口座、もしくは公金受取口座を市が把握して、それを記載した通知を確認通知書としてお送りするプッシュ型の方法と、口座が分からない方については、申請書を送って返送いただく方法がある。

問 エネルギー・食料品等価格高騰重点支援事業のうち、障がい者福祉施設物価高騰対策費補助金の対象となる相談支援事業所は

答 障がい者や障がい児に係る課題の解決や適切なサービス提供に向けて、障がい福祉サービスや地域相談支援の種類や量などを定めたサービス利用計画案を作成し、支給決定後に障がい福祉サービスなどについて利用計画を作成し支援する事業所。

短歌

- 月光に冬雲しらく走る夜は もの悲しかり鱈汁の湯気
- 紅白の喧騒とじて除夜の鐘 この静けさのおもしろき国
- 平野台の公園台地に銀の波 ゆれて静かな夜に入りゆく
(若草 高名 稔さん)
- 一休み^{ひとやすみ}姿勢正してまた歩く路面にのびる今朝のわが影
- 沈黙の歩きは体に効くのかと善一田古墳の森へカラスは飛んだ
- ただ歩くあるき疲れて日は落ちて見ざる聞かざる三ざる歩き
(乙金台 泉 満夫さん)
- 霧島の 坂本龍馬 お龍さん 木立の杉も 歴史をみつめ
(つつじヶ丘 松野直美さん)
- おひなさま 嫁から孫へと 幸せを 毎年飾りて 還暦になり
- 雨上かり あじさいの葉に 天カエル 小鳥はさえずり 風こちよく
(白木原 ミドリさん)
- 花殻^{はながら}は 繚乱^{りょうらん}の後 年重ね 心掛けたや 健やか保持を
- 身体^{からだ}には ごはん味噌汁 和粗食 先人の知恵 学びが多く
(乙金台 小野敬子さん)

イラスト



(白木原 ミドリさん)

作品掲載希望者募集

みなさんからいただいた作品をそのまま紹介します。

●募集作品

・俳句・川柳・短歌・写真・イラストなど

●応募方法

住所、氏名、電話番号を記入して、
議会事務局「議会だより作品募集」係へ郵送または

直接窓口へ 〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号

TEL. 580-1938

●注意事項

・未発表のものに限ります(新カナ、旧カナは問いません。)

・人物の写真については、掲載の了解を得てください。

・提出された作品は、返却しません。

・ペンネームでも可とします。

・応募多数の場合は広報委員会で厳選して決定します。

あらかじめご了承ください。

●応募締切

8月15日号掲載は6月30日まで



川柳

- 沈黙の雄弁老いて輝けり
(乙金台 泉 満夫さん)

俳句

- 青葉冷ひとり歩きに添ふカラス
(乙金台 泉 満夫さん)
- 徳利^{とっくり}に 熱いおでんと 暮の談
- 音を奏^ねで 吹きぬける風 春を呼ぶ
(つつじヶ丘 松野直美さん)

小・中学生からの応募もお待ちしております

広報委員会

メンバーが
変わりました!

委員長	河村康之
副委員長	中村慎一郎
委員	森和也
委員	中村真一
委員	永利恭子
委員	河野敏生

あんてな

4月13日から10月13日まで「大阪・関西万国博覧会」が開催されています。
「いのち輝く未来社会のデザイン」とのテーマのもと、160の国や地域、国際機関が一同に参加しています。

会場のシンボルとして木造の「大屋根リング」のほか、日本館の「火星の石」や、次世代の移動手段とされる「空飛ぶクルマ」の実演飛行などがあり、是非、見てみたいと思います。
しかし、大阪まで行くには大変だと思われる方のために、会場に行かずに楽しめる「バーチャル万博」というものもあるそうです。半世紀ぶりに大阪で開催される万博です、様々な形で万博を楽しんでは如何でしょうか?
(河村 康之)